

令和6年度（令和5年度実施）
高知県公立学校教員採用候補者選考審査
筆記審査（専門教養）

高等学校 書道

受審番号		氏名	
------	--	----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（ワークシート）は2枚あります。切り離さないでください。

- 3 解答用紙（ワークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。
 - 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にワークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をワークしてください。

記入例

		受 審 番 号				
万	千	百	十	一		
1	0	0	0	0	0	
0	0	1	0	1	0	
0	2	0	2	0	1	
0	3	3	0	2	2	
0	4	4	4	3	3	
0	5	5	5	4	4	
0	5	5	5	5	5	

(受審番号12345の場合)

- 4 解答は、解答用紙（ワークシート）の解答欄の記号をワークしてください。例えば、解答記号 ア と表示のある問いに対して b と解答する場合は、下の (例) のように **アの解答欄の b** をワークしてください。

(例)

ア	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
---	----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

なお、一つの解答記号に対しては、解答欄の記号を二つ以上ワークしないでください。

- 5 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（ワークシート）のみ回収します。受審者は、審査室内のすべての解答用紙（ワークシート）が回収された後、監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。



第1問

1 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領における「芸術」の「第1款 目標」の一部を示したものである。 [①] に該当する適切な語を、あとのa～e から一つ選びなさい。 [ア]

(1) 芸術に関する各科目の [①] について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

- a 特徴
- b 特質
- c 性質
- d 特色
- e 意義

(2) 次の文は平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領における「芸術」の「第1款 目標」の一部を示したものである。 [②] 、 [③] 、 [④] に該当する適切な語の組み合わせを、あとのa～eから一つ選びなさい。 [イ]

(3) 生涯にわたり芸術を愛好する [②] を育むとともに、 [③] を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな [④] を培う。

- | | | |
|---|---|----|
| a | ② | 精神 |
| b | ② | 感性 |
| c | ② | 心情 |
| d | ② | 感性 |
| e | ② | 心情 |
| a | ③ | 心情 |
| b | ③ | 情操 |
| c | ③ | 感性 |
| d | ③ | 心情 |
| e | ③ | 感覚 |
| a | ④ | 感性 |
| b | ④ | 精神 |
| c | ④ | 情操 |
| d | ④ | 情感 |
| e | ④ | 感性 |

2 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領の解説における科目「書道Ⅰ」の「1 性格」の一部を示したものである。
 のa～eから一つ選びなさい。 ウ ⑤に該当する適切な語を、あと

「知識」については、「A表現」で作品を構想し表現を工夫したり、「B鑑賞」で作品や書を味わって捉えたりする過程の中で、身に付けられたり、更新されたりして、
⑤な知識として理解できるように位置付けている。

- a 系統的
- b 包括的
- c 一般的
- d 基本的
- e 汎用的

(2) 次の文は平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領における科目「書道Ⅰ」の「1 目標」の一部を示したものである。あとの問いに答えなさい。

(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書⑥に基づき、効果的に表現するための⑦な技能を身に付けるようにする。

I

⑥

に該当する適切な語を、次のa～eから一つ選びなさい。

エ

- a 書式
- b 伝統
- c 特性
- d 本質
- e 類型

II

⑦

に該当する適切な語を、次のa～eから一つ選びなさい。

オ

- a 一般的
- b 入門的
- c 基本的
- d 基礎的
- e 概論的

- (3) 次の文は平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領における科目「書道Ⅰ」の「3 内容の取扱い」の一部を示したものである。□⑧に該当する適切な語句を、あとのa～eから一つ選びなさい。 □カ

(5) 内容の〔共通事項〕は、表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力であり、「A表現」及び「B鑑賞」の指導と併せて、□⑧ 指導が行われるよう工夫する。

- a 十分な
- b 適切な
- c 的確な
- d 効果的な
- e 充実した

3 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 次の文は平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領の解説における科目「書道Ⅱ」の「1 性格」の一部を示したものである。□⑨に該当する適切な語句を、あとのa～eから一つ選びなさい。 □キ

「書道Ⅱ」は、「書道Ⅰ」を履修した生徒が、更に□⑨として履修するために設けている科目である。

- a 次の学年
- b 次の内容
- c 次の段階
- d 深める事項
- e 習得する内容

(2) 次の文は平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領における科目「書道Ⅱ」の「1 目標」の一部を示したものである。あとの問いに答えなさい。

(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて ⑩ に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や ⑪ を考え、書的美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。

I ⑩ に該当する適切な語を、次の a～e から一つ選びなさい。 ク

- a 独創的
- b 発展的
- c 創造的
- d 進展的
- e 個性的

II ⑪ に該当する適切な語を、次の a～e から一つ選びなさい。 ケ

- a 価値
- b 機能
- c 働き
- d 効果
- e 効能

(3) 次の文は平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領における科目「書道Ⅱ」の「3 内容の取扱い」の一部を示したものである。 ⑫ に該当する適切な語句を、あとの a～e から一つ選びなさい。 コ

(4) 内容の「A表現」の指導については、篆刻を扱^{てん}うものとし、 ⑬ 等を考慮し、刻字等を加えることもできる。

- a 地域の実態
- b 学校の実態
- c 備品の状況
- d 用具の特性
- e 生徒の特性

1 次の(1)～(5)の図版の古典名を、それぞれあとのa～eから一つ選びなさい。

(1)

- a

ア

大盂鼎
b 石鼓文
c 散氏盤
d 泰山刻石
e 小克鼎

(2)

- a

イ

西嶽華山廟碑
b 西狹頌
c 礼器碑
d 乙瑛碑
e 孔宙碑

(3)

- a

ウ

宣示表
b 樂毅論
c 東方朔画贊
d 黄庭経
e 薦季直表

(4)

工

- a 蘭亭十三跋
- b 松風閣詩卷
- c 赤壁賦
- d 黃州寒食詩卷

e 行書虹景詩卷

(5)

才

- a 中秋帖
- b 自叙帖
- c 平復帖
- d 元日帖
- e 肚痛帖

2 次の図版についてあとの(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) この図版について説明したものととして誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。

カ

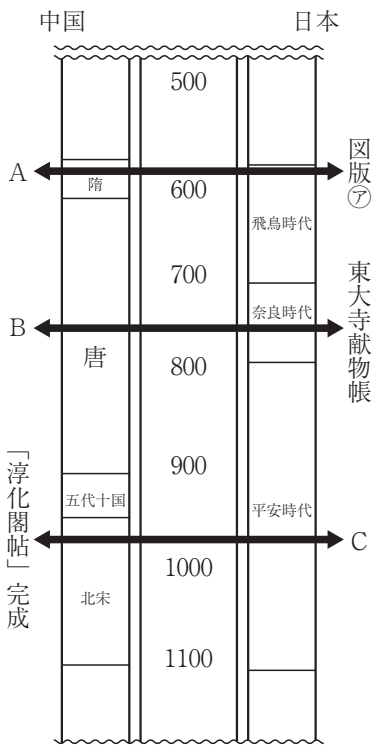
- a 複数の書簡を一つにまとめたものの一部である。
- b 双鉤填墨の技法によって精密に模写されている。
- c 縦に簾目のある白麻紙が用いられている。
- d 筆力のある運筆法で変色多彩に書かれている。
- e 右端に嵯峨天皇の「延暦敕定」印が押されている。

(2) この図版の筆者の作品として適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

キ

- a 蜀素帖
- b 離洛帖
- c 大報帖
- d 月儀帖
- e 韭花帖

3 次の年表は、日本と中国の書について、ほぼ同時期のものをそれぞれ「 \longleftrightarrow 」でつないでいる。これについてあとの(1)～(3)の問いに答えなさい。



(1) 次の図版㊦とほぼ同時期のAに当てはまる図版として適切なものを、あとのa～eから一つ選びなさい。

㊦

図版㊦

a

b

c

d

e

(2) Bに当てはまるものとして適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

㊦

a 玄秘塔碑 b 高貞碑 c 集古録跋尾 d 祭姪文稿 e 枯樹賦

(3) Cに当てはまるものとして適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

㊦

a 久隔帖 b 土佐日記 c 光定戒牒 d 伊都内親王願文 e 離洛帖

4 次の(1)～(3)の図版が表す文字を、それぞれあとのa～eから一つ選びなさい。

(1)

a

サ

b 季
c 李
d 汗
e 好
f 游

(2)

a

シ

b 入
c 發
d 癸
e 交
f 父

(3)

a

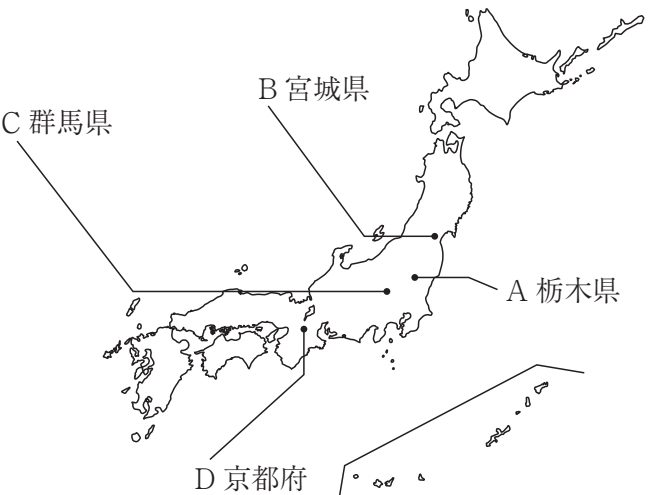
ス

b 民
c 比
d 北
e 此
f 忙

5 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の地図のA～Dは日本の主な古碑の所在地を示したものである。所在するそれぞれの古碑の名称と位置の組み合わせとして適切なものを、あとのa～eから一つ選びなさい。

セ



- | | | | | | | | | |
|---|---|-------|---|--------|---|-------|---|--------|
| a | A | 多賀城碑 | B | 多胡碑 | C | 那須国造碑 | D | 御史台精舎碑 |
| b | A | 那須国造碑 | B | 多賀城碑 | C | 多胡碑 | D | 宇治橋断碑 |
| c | A | 多胡碑 | B | 那須国造碑 | C | 多賀城碑 | D | 宇治橋断碑 |
| d | A | 多賀城碑 | B | 那須国造碑 | C | 宇治橋断碑 | D | 御史台精舎碑 |
| e | A | 那須国造碑 | B | 御史台精舎碑 | C | 多胡碑 | D | 宇治橋断碑 |

(2) 次の文を読み、①・②に当てはまる語の組み合わせとして適切なものを、あとのa～eから一つ選びなさい。

ソ

鎌倉時代になると、書は、実用性を重視するようになって、類型化した。鎌倉時代後期から南北朝時代にかけて登場した①の伝統和様に立脚した書風は、その後のわが国の書の基盤となり、江戸時代には②とよばれ、長く命脈を保った。

- | | | | | |
|---|---|-------|---|------|
| a | ① | 尊円法親王 | ② | 御家流 |
| b | ① | 藤原伊行 | ② | 世尊寺流 |
| c | ① | 藤原忠通 | ② | 宸翰様 |
| d | ① | 伏見天皇 | ② | 勅筆法 |
| e | ① | 伏見天皇 | ② | 法性寺流 |

第3問

1 次の図版(1)～(4)の文字の字源を、それぞれあとのa～eから一つ選びなさい。

(1)

a

ア

b 良
c 累
d 流
e 留

(2)

a

イ

b 草
c 京
d 東
e 梨

(3)

a

ウ

b 盈
c 盤
d 農
e 當

(4)

a

エ

b 功
c 於
d 故
e 数

2 次の図版のA・Bについて(1)・(2)の問いに答えなさい。

A

B

(1) Aの伝称筆者であり、Bの和歌を詠んだ人物名として適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。
オ

a 紀貫之 b 源通具 c 藤原公任 d 慈円 e 藤原行成

(2) Bの作品名として適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。
カ

a 関戸本古今和歌集 b 高野切第三種 c 石山切
d 高野切第一種 e 元永本古今和歌集

3 次の文を読み、あとの(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 波線部Aの作品例として適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

キ

- a 正倉院仮名文書
- b 秋萩帖
- c 隅田八幡宮人物画像鏡銘
- d 法華義疏
- e 稿本北山抄紙背仮名消息

(2) 波線部A・Bに当てはまる名称の組み合わせとして適切なものを、次のa～eから

一つ選びなさい。

ク

- | | | | | |
|---|---|------|---|-----|
| a | A | 万葉仮名 | B | 男手 |
| b | A | 草仮名 | B | 男手 |
| c | A | 万葉仮名 | B | 女手 |
| d | A | 草仮名 | B | 女手 |
| e | A | 真名 | B | 草仮名 |

4 次の図版A～Cは万葉集の写本である。あとの(1)・(2)の問いに答えなさい。

A

B

C

(1) 伝来に由来してその名がついたものを選んだものとして適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a A b B c A・B d A・C e B・C

(2) 図版A～Cは五大方葉集と呼ばれているもののうちの三つである。残りの二つの組み合わせとして適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 元暦校本万葉集 藍紙本万葉集
- b 藍紙本万葉集 天治本万葉集
- c 元暦校本万葉集 金沢本万葉集
- d 桂本万葉集 金沢本万葉集
- e 元暦校本万葉集 天治本万葉集

第4問

1 次の文を読み、あとの(1)～(3)の問いに答えなさい。

A

B

(1) 図版Aの説明として適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

ア

- a 亀甲や雲鶴などの文様を手描きした和紙が使用されている。
- b 糸で綴られた冊子本である。
- c 上中下三冊の完本である。
- d 三筆のうちの一の筆と伝えられている。
- e 明治十一年に近衛家が皇室に献納したものである。

(2) 図版Bの名称として適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

イ

- a 筑後切
- b 三宅切
- c 伊予切
- d 東大寺切
- e 御文庫切

(3) 次の図版C～Eの漢字仮名交じりの書と筆者名の組み合わせとして適切なものを、あとのa～eから一つ選びなさい。

ウ

C

D

E

- | | | | | | |
|---|-------|---|------|---|-------|
| a | 本阿弥光悦 | D | 森田安次 | E | 大沢竹胎 |
| b | 藤原定家 | D | 金子鷗亭 | E | 高村光太郎 |
| c | 松花堂昭乗 | D | 森田安次 | E | 会津八一 |
| d | 藤原定家 | D | 中野北溟 | E | 若山牧水 |
| e | 本阿弥光悦 | D | 金子鷗亭 | E | 会津八一 |

2 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の著作権に関する説明として誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。

エ

- a 著作権が付与されることで、著作物を守り、文化の発展に寄与することになる。
- b 著作権とは、知的な創作活動によって作られた文化的な創作物に他動的に付与される権利である。
- c 著作物の著作権保護期間は原則として著作者の没後七十年である。
- d 他者の著作物が著作権保護期間を過ぎている場合は、著作権の管理をしている団体などから使用の許諾を得る必要がある。
- e 臨書作品であっても書いた人の著作権が生じる。

(2) インターネット上での著作権について説明したものととして適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

オ

- a ほかのホームページの記事を自分のサイトにまるごと引用しても問題にならない。
- b 有名なキャラクターなどをアスキーアートで作成して発表しても特に著作者の許諾は必要ではない。
- c ブログやホームページなどに他者の作品を掲載するには、著作権者の許可が必要となる。
- d 顔文字には著作権はなく、アスキーアートのように複雑に構成された作品でも著作権は発生しないので使用しても問題にはならない。
- e インターネットに公開された著作物は、その権利者の許諾のあるなしに関わらずコピーし、販売しても問題にはならない。

3 次の図版A～Dは高知県ゆかりの人物の書状である。あとの(1)・(2)の問いに答えなさい。

A

B

C

D

(1) 図版A～Dと筆者の組み合わせとして適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

カ

e	d	c	b	a
A	A	A	A	A
山内一豊	中岡慎太郎	中岡慎太郎	板垣退助	坂本龍馬
B	B	B	B	B
坂本龍馬	板垣退助	山内一豊	坂本龍馬	板垣退助
C	C	C	C	C
中岡慎太郎	山内一豊	板垣退助	中岡慎太郎	山内一豊
D	D	D	D	D
板垣退助	坂本龍馬	坂本龍馬	山内一豊	中岡慎太郎

(2) 図版Aの筆者について説明したものとして適切なものを、次のa～eから一つ選びなさい。

キ

- a この書は、後藤象二郎に宛てた書簡である。
- b この筆者は、青年時代に藩の学館に通い、村政に尽力した。
- c この筆者は、海援隊を組織した。
- d この筆者は、号を迂山とし、陸援隊を組織した。
- e この筆者は、用談中に襲われるが、命をとどめその後も活躍した。

第5問

1 次の文を読み、あとの(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 右の文中の印①～④の例として選んだ、次の図版A～Dの組み合わせとして適切なものを、あとのa～eから一つ選びなさい。

ア

A

B

C

D

e	d	c	b	a
①	①	①	①	①
B	A	B	D	A
②	②	②	②	②
D	C	D	B	D
③	③	③	③	③
A	D	C	C	C
④	④	④	④	④
C	B	A	A	B

(2) 印材の説明として誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。

イ

- a 田黄は、山吹色や飴色の田石の一種であり、印材の王座を占める。
- b 鶏血は、純紅で雞冠の如き鮮美なものを純雞血紅といわれる。
- c 青田石は、貴州省処州府青田県から産出したものである。
- d 黒田は、田黄・白田と同じ田石である。
- e 鴨雄緑は、野鴨の美しい羽毛のような色である。

2 次の文は、刻字の作業における「捨て鑿^{のみ}」の説明である。 ・ に当てはまる語句の組み合わせとして適切なものを、あとのa～eから一つ選びなさい。

木目を考慮しながら要所に切れ込みを入れる作業が必要である。本当の輪郭線から 離れた位置に、仮の輪郭線を想定して刀を入れていく。鑿は少し斜めに立てて入れる。次に、反対側から になるように刀を入れる。

- a A 二～五ミリ B U字
- b A 二～五ミリ B V字
- c A 二～五ミリ B L字
- d A 十ミリ B U字
- e A 十ミリ B V字

3 裏打ちについて説明したものとして誤っているものを、次のa～eから一つ選びなさい。

- a 裏打ち紙は、前もって本紙より大きく切っておく。
- b 練墨や墨汁、宿墨などは散ることがあるので注意が必要である。
- c 墨量の多いところは、霧吹きをする際、水を多めにする。
- d 拓本の裏打ちも、本紙のしわをよく伸ばす。
- e 総裏打ちでは宇陀紙や大唐紙などを使用する。

4 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、黄庭堅の学書「山谷題跋」の一部である。 に当てはまる語として適切なものを、あとのa～eから一つ選びなさい。

- a 楷則 b 執筆 c 規矩 d 用筆 e 結体

(2) 次の文は、王鐸の学書「臨閣帖與山水画合卷」の一部である。 に当てはまる語として適切なものを、あとのa～eから一つ選びなさい。

- a 張旭懷素 b 羲獻 c 四賢 d 張芝 e 孫過庭

5 次の(1)・(2)の説明文に当てはまる用語として適切なものを、それぞれあとのa～eから一つ選びなさい。

(1) 起筆や転折などで、とがった角を出さず、丸みを帯びるように書くこと。

キ

a 方筆 b 順筆 c 直筆 d 側筆 e 円筆

(2) 書画に書き添えられたその書画に関する詩や文のこと。

ク

a 聯 b 対幅 c 賛 d 脇付 e 銘

